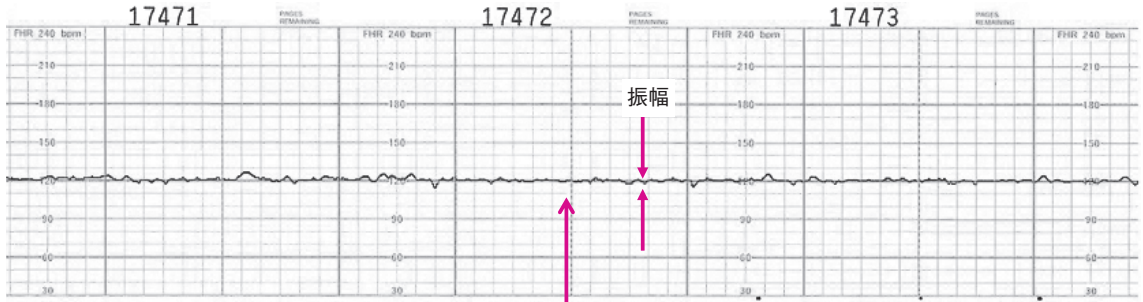


●● お詫びと訂正 ●●

雑誌『周産期医学』51巻6号(2020年6月号) ガイドラインの挟間で—ガイドラインには対応が示されていない症例にどう対応するか？

古川誠志先生論文「妊娠編 妊娠37週：胎児心拍モニタリングの判定と対応を迷っている」(881～886頁)に誤りがございました。お詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正いたします。

【誤】



基線細変動 (baseline variability)

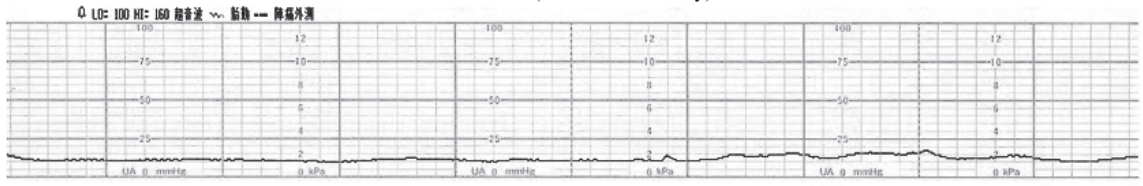
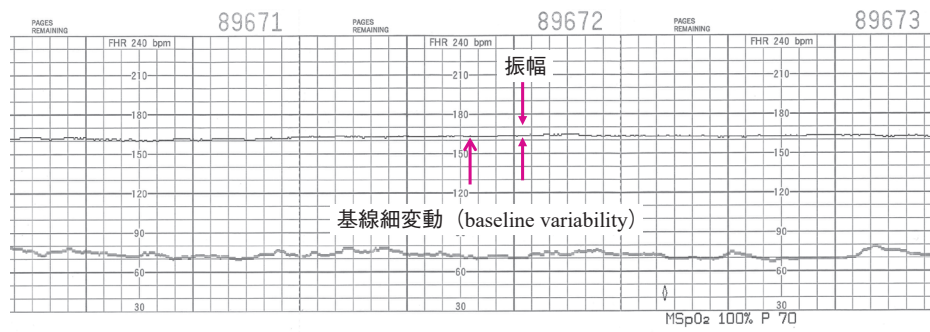


図2 細変動消失

この症例では振幅がほとんど認められないため細変動消失と判定する。



【正】



基線細変動 (baseline variability)

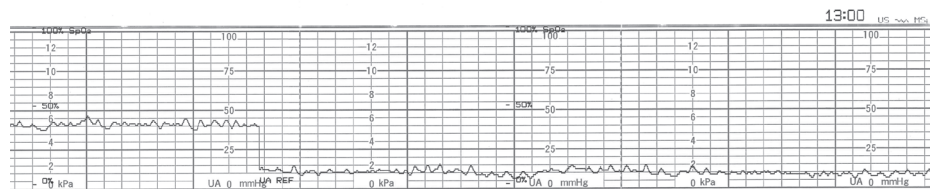


図2 細変動消失

この症例では振幅がほとんど認められないため細変動消失と判定する。

●●